

## 価格.comリサーチ「夏のボーナス2015」調査結果

平均推定支給額は61.6万円（昨年比5.8万円↑）、4期連続の増加  
 使い道トップは引き続き貯金ながら、投資や買い物に充てる金額もアップ！  
 「金融商品の購入」166,402円、「商品・サービス購入」73,508円  
 ～今夏のボーナス商戦は、消費者のお財布もちょっとゆるめ？～

株式会社カカクコムが運営する購買支援サイト「価格.com（カカドットコム）：<http://kakaku.com/>」  
 で実施した「2015年夏のボーナス」に関するアンケート調査結果をお知らせします。

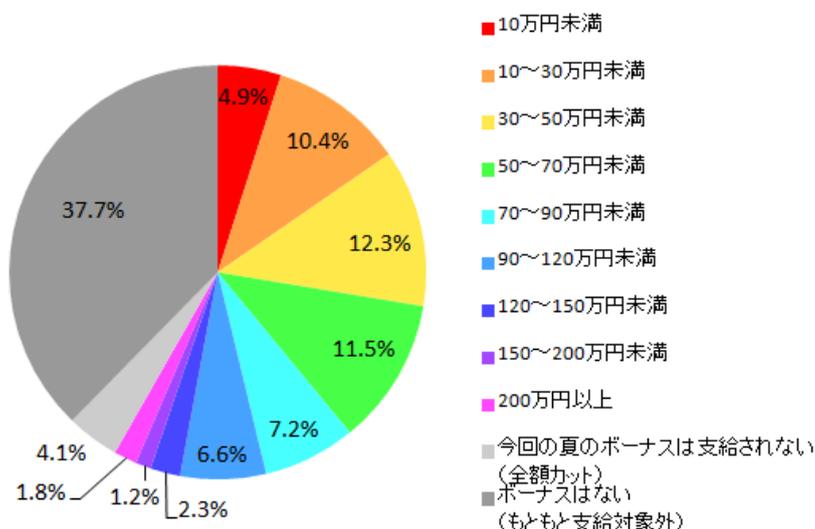
## 【結果ダイジェスト】

- 推定支給額：平均61.6万円（昨年比5.8万円増）。本調査では4期連続の増加
- 性・年代別：総じて増加傾向。特に「女性」、シニア層で大幅増
- 業種別：総じて増加傾向。特に金融業15.3%、製造業12.6%、サービス業も7.3%増
- 自由に使える金額：10万円以上の割合（49.3%）が大幅増。「自由に使えない」は例年より減少
- ボーナスの使い道と平均消費金額：使い道トップは引き続き「貯金」195,874円。  
 金融商品の「購入」「補填」にかかる金額は、各3割程度増加。「商品購入」も金額上昇
- 夏のボーナスで購入したいもの：「洋服・ファッション関連」（16.6%）が今年もトップ。  
 「スマートフォン」（7.4%）は割合増、順位上昇。一方、「タブレット端末」は割合減、順位も低下

### 推定支給額：平均61.6万円（昨年比5.8万円増）。本調査では4期連続の増加、景気回復傾向の表れか

推定支給額は、平均61.6万円（昨年比+5.8万円）となり、価格.comリサーチの調査では2013年冬以降、4期連続の増加となりました。金額帯の割合は昨年に引き続き、全体で少しずつ金額が底上げされている様子が見えかえります。特に「10万円未満」の割合が昨年より1.9ポイント減少、また「50～70万円」「70～90万円」「90～120万円」「120～150万円」が少しずつ増えていることが全体の金額アップに寄与していると考えられます。

【図 1-1 2015年夏のボーナス推定支給額（全体）】



**性・年代別：総じて増加傾向。特に「女性」(+16.2%)、「50代」(+14.9%)で大幅増**

男女別では、昨年比で男性が+9.6%、女性が+16.2%と、女性の支給額が大きく伸びました。年代別では、すべての年代で昨年比プラスとなっており、特に50代が+14.9%と、シニア層の伸びが見て取れます。昨年は厳しい状況だった20代も、今年はプラスに転じました。

【図 1-2 夏のボーナス推定平均支給額 性別・年代別（税込金額）】

|      |       | 2015年夏<br>(万円) | 2014年夏<br>(万円) | 増減<br>(万円) | 前年比   |
|------|-------|----------------|----------------|------------|-------|
| 全体平均 |       | 61.6           | 55.8           | 5.8        | 10.4% |
| 性別   | 男性    | 62.5           | 57.0           | 5.5        | 9.6%  |
|      | 女性    | 45.2           | 38.9           | 6.3        | 16.2% |
| 年代別  | 20代   | 34.8           | 33.5           | 1.3        | 3.9%  |
|      | 30代   | 49.0           | 45.2           | 3.8        | 8.4%  |
|      | 40代   | 62.4           | 58.9           | 3.5        | 5.9%  |
|      | 50代   | 72.5           | 63.1           | 9.4        | 14.9% |
|      | 60歳以上 | 44.4           | 40.4           | 4.0        | 9.9%  |

**業種別：総じて増加傾向。金融業 15.3%、製造業 12.6%、サービス業も 7.3%増**

昨年に比べ、ほぼ全ての業種で支給額の増加が見られました。景況感改善の恩恵を特に受けたと思われる金融業(+15.3%)や製造業(+12.6%)は大幅増。また、一昨年までは厳しい局面が続いていたサービス業(+7.3%)も、昨年に引き続きプラスとなりました。

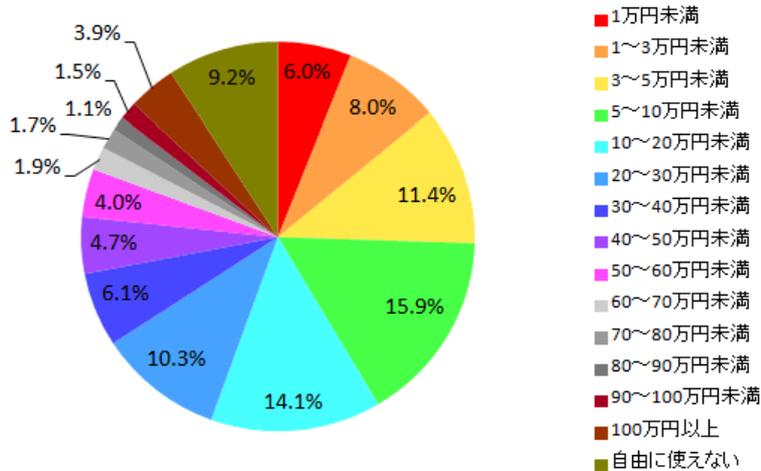
【図 1-3 夏のボーナス推定平均支給額 業種別（税込金額）】

|       |                | 2015年夏<br>(万円) | 2014年夏<br>(万円) | 増減<br>(万円) | 前年比   |
|-------|----------------|----------------|----------------|------------|-------|
| 全体平均  |                | 61.6           | 55.8           | 5.8        | 10.4% |
| 業種別   | 金融業            | 99.3           | 86.1           | 13.2       | 15.3% |
|       | 国家・地方公務員       | 66.8           | 64.5           | 2.3        | 3.6%  |
|       | 製造業            | 69.8           | 62.0           | 7.8        | 12.6% |
|       | ソフトウェア 情報サービス業 | 59.1           | 54.1           | 5.0        | 9.2%  |
|       | 公益法人・財団法人      | 60.9           | 52.3           | 8.6        | 16.4% |
|       | 医療業            | 53.5           | 47.7           | 5.8        | 12.2% |
|       | 卸売・小売業         | 48.2           | 49.2           | -1.0       | -2.0% |
| サービス業 | 47.3           | 44.1           | 3.2            | 7.3%       |       |

**自由に使える金額：「10万円以上」(49.3%)が昨年から大幅増。「自由に使えない」割合も例年より減少**

今夏のボーナスのうち、ローン返済などの必要経費などを除いた、自由に使える金額を聞きました。もっとも多い金額帯は「5~10万円未満」(15.9%)、次いで「10~20万円未満」(14.1%)。10万円以上使える人を合計すると49.3%(昨年：35.6%)と昨年比で大幅上昇、また「自由に使えない」は9.2%(昨年：11.8%)に減っており、消費に回せる金額は増加傾向にあるようです。

【図2 実際に自由に使える金額（税金、ローン返済・生活費の補填、ボーナス一括払いなどを除く）】



**ボーナスの使い道と平均消費金額：使い道トップは引き続き「貯金」195,874円。金融商品にける金額は、各3割程度増加。「商品購入」も金額上昇し73,508円に**

今夏のボーナスの消費用途と金額を聞きました。金額ベースで見ると、いずれの用途も昨年比プラス。使い道トップは引き続き貯金となりました。特に大きな動きが見られたのは「金融商品の購入・外貨預金など」「金融商品の補填」で、金額・割合ともに大幅増。「商品・サービス購入」もこれまでの横ばい・減少基調から一転、金額・割合ともに増加傾向に。旅行も、特に国内が好調となっています。賃金増加や最近の株価上昇を受けて、投資や消費活動にもお金が少しずつ回ってきている様子が見て取れます。

【図3 ボーナス平均消費金額（複数回答）】（お金を使う人の割合が多い順）

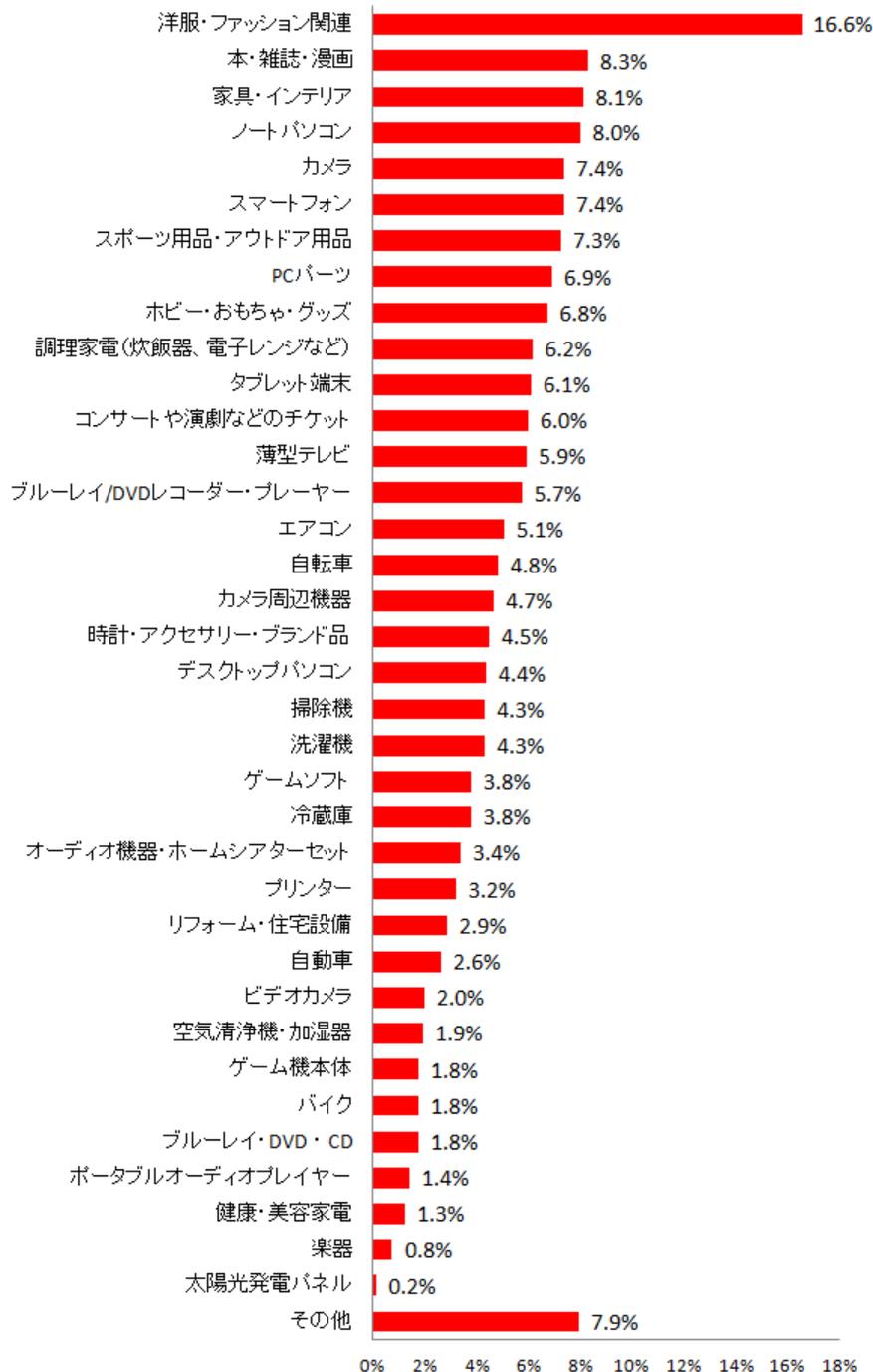
| ボーナス消費用途                     | 調査時期   | この目的にお金を<br>使う人の平均消費<br>金額 | 平均消費金額<br>の増減 | この目的に<br>お金を使う<br>人の割合 | お金を使う<br>人の割合の<br>増減 |
|------------------------------|--------|----------------------------|---------------|------------------------|----------------------|
| 貯金                           | 2015年夏 | 195,874円                   | 7.6%          | 70.0%                  | 1.0                  |
|                              | 2014年夏 | 182,031円                   |               | 69.0%                  | ポイント                 |
| 商品・サービスを購入する                 | 2015年夏 | 73,508円                    | 11.8%         | 65.6%                  | 1.9                  |
|                              | 2014年夏 | 65,732円                    |               | 63.8%                  | ポイント                 |
| 旅行・外出をする(国内)                 | 2015年夏 | 62,906円                    | 1.6%          | 43.8%                  | 3.9                  |
|                              | 2014年夏 | 61,902円                    |               | 39.9%                  | ポイント                 |
| ローン返済                        | 2015年夏 | 187,677円                   | 0.6%          | 36.8%                  | -5.9                 |
|                              | 2014年夏 | 186,531円                   |               | 42.8%                  | ポイント                 |
| 子供の教育費                       | 2015年夏 | 145,573円                   | 2.6%          | 31.5%                  | -0.5                 |
|                              | 2014年夏 | 141,953円                   |               | 32.0%                  | ポイント                 |
| 金融商品（投資信託、株式等）<br>の購入・外貨預金など | 2015年夏 | 166,402円                   | 27.6%         | 15.8%                  | 3.7                  |
|                              | 2014年夏 | 130,386円                   |               | 12.1%                  | ポイント                 |
| 旅行・外出をする(国外)                 | 2015年夏 | 159,586円                   | 9.0%          | 10.1%                  | -0.6                 |
|                              | 2014年夏 | 146,366円                   |               | 10.7%                  | ポイント                 |
| 金融商品（投資信託、株式等）<br>の補填        | 2015年夏 | 142,357円                   | 33.8%         | 9.4%                   | 1.1                  |
|                              | 2014年夏 | 106,400円                   |               | 8.4%                   | ポイント                 |

※平均消費金額は、「お金を使う予定はない」と答えた回答者数を除いて算出しています。

**夏のボーナスで購入したいもの：「洋服・ファッション関連」(16.6%)が今年もトップ。  
「スマートフォン」(7.4%)は割合増、順位上昇。一方、「タブレット端末」は割合減、順位も低下**

今夏のボーナスで購入したい商品を聞いたところ、最も多かったのは例年と同じく「洋服・ファッション関連」で昨年比+5.1ポイントと伸ばしています。新モデル発表やSIMロック解除など最近話題の多い「スマートフォン」は、昨年比+2.7ポイント、順位も9位から6位へと上昇しました。一方、タブレット端末は、昨年比で-1.6ポイント、順位も4位から11位へと落としており、この数年間続いた需要がひと段落している様子もうかがえます。

【図4 今夏のボーナスで購入する商品（ボーナス支給者全体）】



## 【結果まとめ】

今回の調査におけるボーナス平均支給予想額は 61.6 万円で、昨年との調査と比較して 5.8 万円（10.4%）もアップ。本調査では、2013 年冬以降、4 期連続の増加となっています。業種別、企業規模別に見ても、軒並み前年の調査を上回る結果となりました。ここに来て、アベノミクスによる賃上げの効果が広範囲に波及してきたと見る事ができるかもしれません。

なお、ボーナス支給額が増えると同時に、消費に回す金額も増加しています。ボーナス支給額のうち、自由に使える金額の割合が昨年よりも高くなっており、それとともに、いずれの使い道でも平均消費金額もアップしています。使い道は例年通り「貯金」が 70.0%とトップになりましたが、「金融商品の購入・補填」「商品・サービス購入」「旅行・外出（国内）」などの増加も目立ち、ボーナスアップに合わせて、消費や資産運用に積極的になりつつある消費者心理の変化もうかがえる結果となりました。

▼今年の調査結果・昨年の調査結果はこちらからご確認いただけます

2015 年夏：<http://kakaku.com/research/report/085/index.html>

2014 年夏：<http://kakaku.com/research/report/078/index.html>

### 【価格.com サイトデータ】（2015 年 3 月現在）

月間利用者数 5,053 万人、月間ページビュー 9 億 3,658 万 PV、累計クチコミ件数約 1,900 万件  
<利用者内訳> PC：2,842 万人 スマートフォン：2,171 万人 フィーチャーフォン：40 万人

#### データの引用・転載時のクレジット表記について

本調査結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

#### クレジット表示例

- ・「価格.com リサーチ」調べ
- ・購買支援サイト「価格.com」が実施した調査によると…